

腰原研究室

木、土、石を用いた建築の構造性能



人間・社会系部門

木質構造デザイン工学

<http://wood.iis.u-tokyo.ac.jp/>

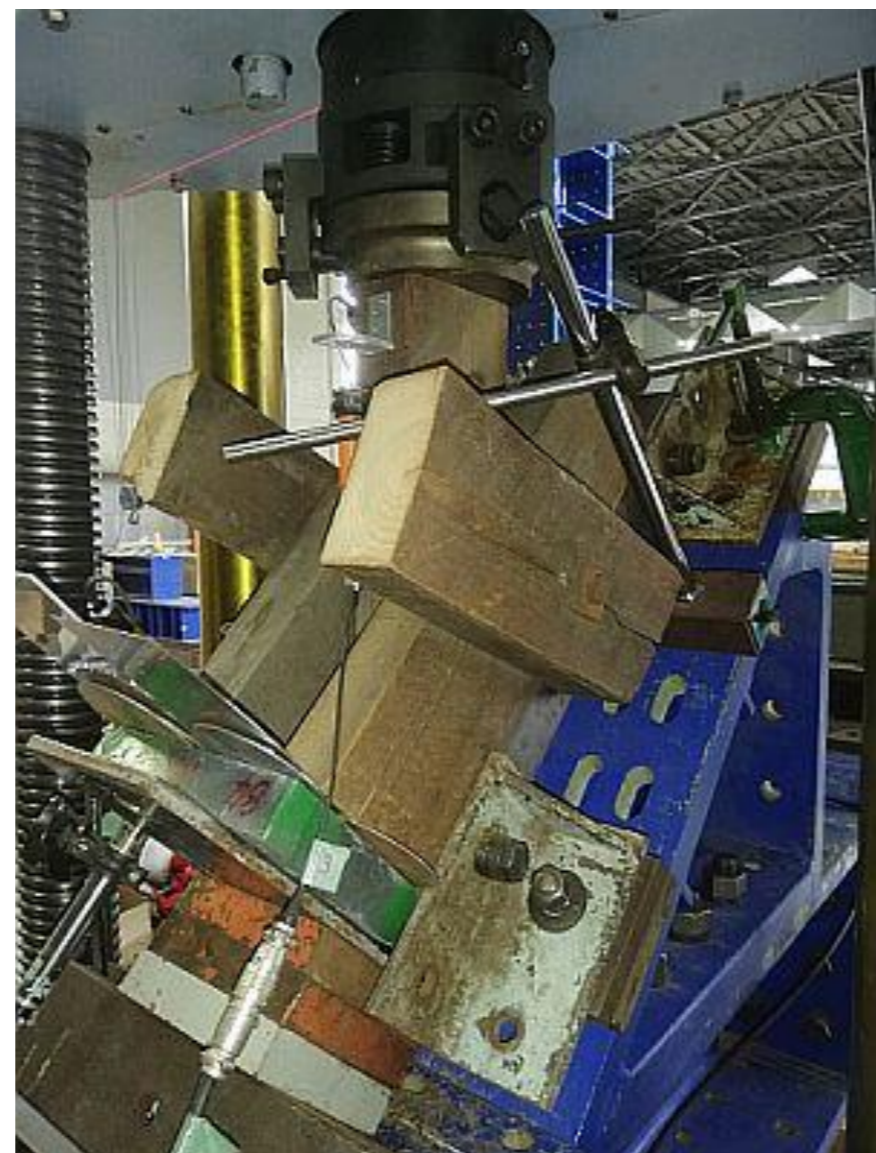
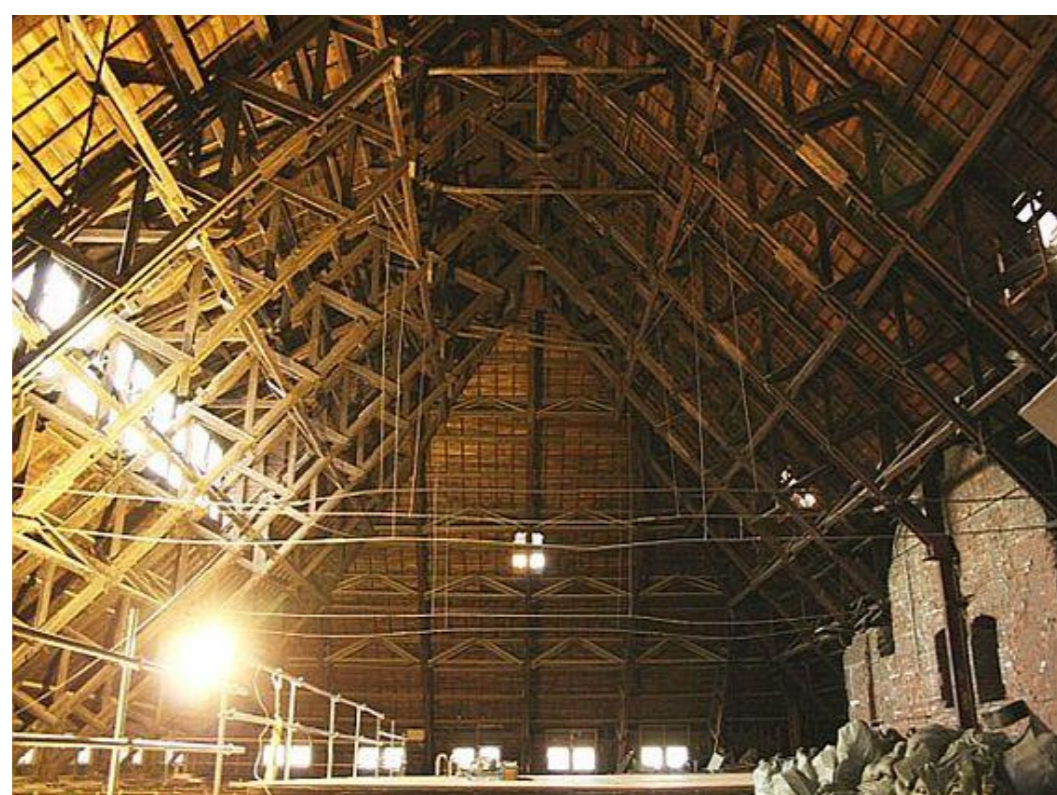
本研究室では主に木材を対象として建物のつくりかたである構法について調査・研究を行っています。研究対象としては文化財として登録されるような歴史的伝統・近代木造建築から現代木造建築、さらに煉瓦造建築等の研究まで幅広く進めています。そのほか建築の枠にとらわれず木材を利用したモノの制作を行うなど、学生が主体となって様々なプロジェクトに取り組んでいます。



古材の研究事例

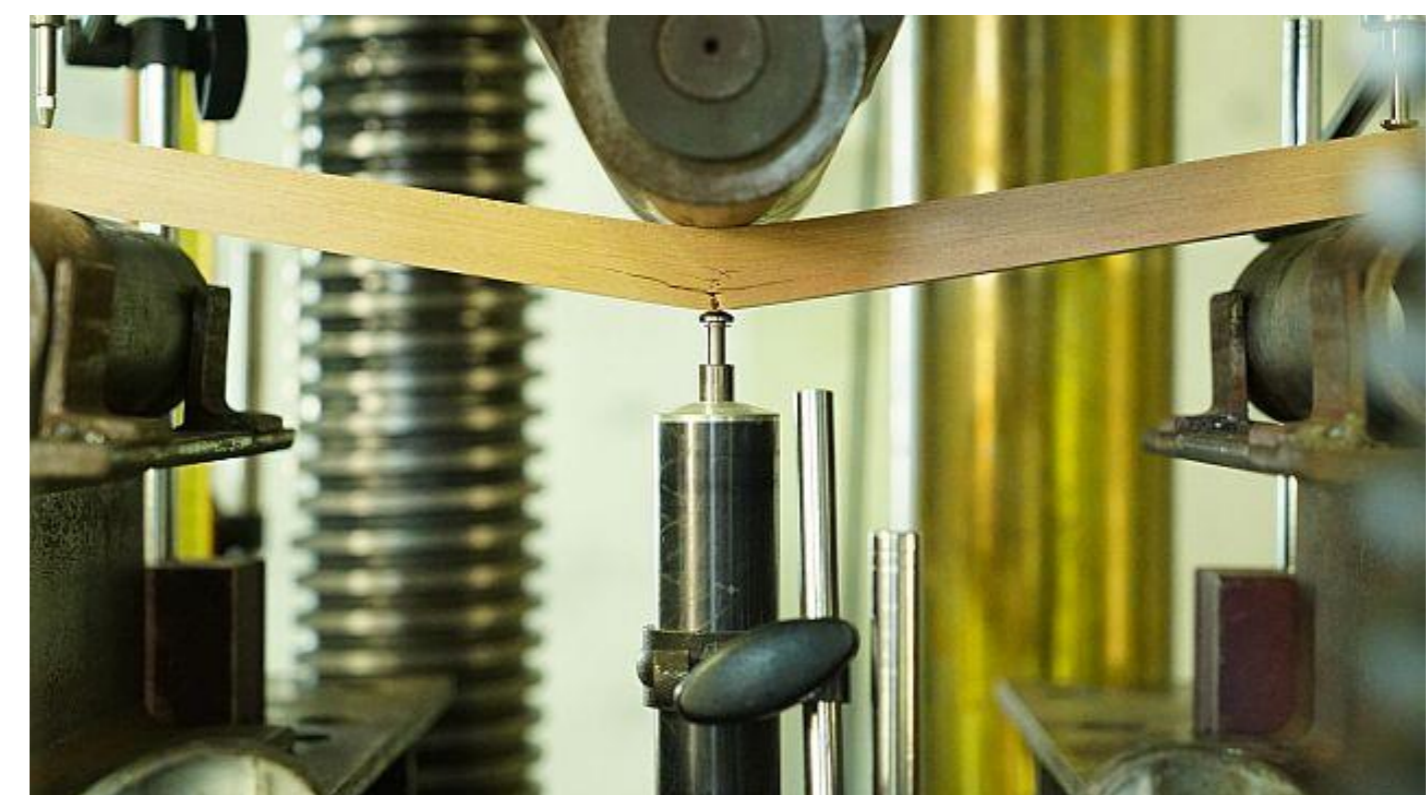
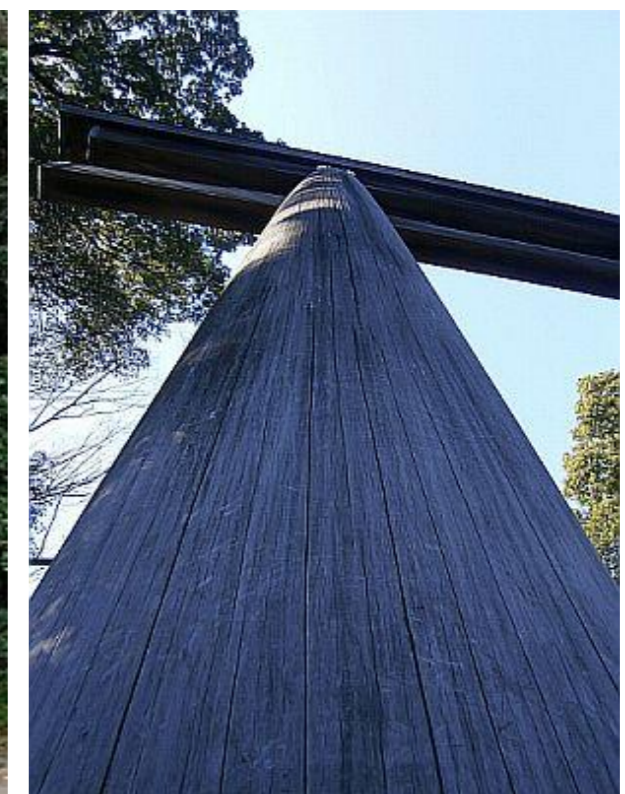
☑東京駅小屋組み接合部実験(2022)

戦災復興後60年以上使い続けられてきた東京駅の小屋組みについて、その接合部における加力実験を行い強度の変化を検証しました。



☑明治神宮旧鳥居の強度測定(2023)

明治神宮南参道鳥居の建替えに伴い旧鳥居の柱より試験体を採取し、その強度測定を実施しました。



☑長崎県の近代煉瓦造建築物における強度実験(2021)

長崎県では明治期より薄くて長い扁平的特徴を持つこんにやく煉瓦を使用した煉瓦造建築物が多数造られ、現在その耐震補強等の改修が行われています。本研究室では当時の煉瓦および再現された目地を用い、壁体面外曲げ強度に関する実験を実施しました。

